

2021年度（令和3年度） 大学院国際関係学研究所 【修士課程】

学生募集要項

出願資格審査

申請期間 〔一次募集〕 2020年 7月10日（金）～ 7月16日（木）16：00【必着】
〔二次募集〕 2020年12月 4日（金）～12月10日（木）16：00【必着】

※過去に出願資格審査により出願を認められた者も改めて出願資格審査を受ける必要があります。

出願期間 〔一次募集〕 2020年 8月26日（水）～ 9月 1日（火）15：00【必着】
〔二次募集〕 2021年 1月19日（火）～ 1月25日（月）15：00【必着】

試験日 〔一次募集〕 2020年 9月26日（土）
〔二次募集〕 2021年 2月 7日（日）

合格発表 〔一次募集〕 2020年10月 6日（火）10：00以降
〔二次募集〕 2021年 2月10日（水）10：00以降

静岡県立大学

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

※今後、新型コロナウイルスの感染状況により記載内容に変更が生じた場合は、ホームページにて周知します。

1 募集人員及び修業年限

選 抜 区 分			一次募集		二次募集	
			一般選抜	特別選抜 (社会人、外国人、 推薦)	一般選抜	特別選抜 (社会人、外国人)
専攻	国際関係学専攻	募集 人員	5人		若干名	
	比較文化専攻		5人			

※標準修業年限：2年

2 出願資格

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
(2021年3月卒業見込みの者を含む。)
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
(2021年3月までに授与される見込みの者を含む。)
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
(2021年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 (2021年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、学校教育法施行規則第155条第1項第4号の規定に基づき文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者 (2021年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (6) 専修学校の専門課程 (修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定めた基準を満たす者に限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 (2021年3月までに修了見込みの者を含む。)
- (7) 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定に基づき文部科学大臣の指定した者 (昭和28年文部省告示第5号：水産大学校、気象大学校、防衛大学校、防衛医科大学校、海上保安大学校を卒業した者など)
- (8) 本学学長が、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
(2021年3月までに3年以上の在学、15年の課程修了が見込まれる者を含む。)
※「所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者」とは修得単位 124単位以上 (2021年3月までの見込みを含む。)、総単位数に占める優以上、S、Aの単位が3/4以上の者をいいます。
※中国の3年制大学 (専科・職業学院等) のみ卒業した者は(8)には該当しません。
- (9) 本学学長が、大学院の個別入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2021年3月31日までに22歳に達する者
- (10) その他本学学長が学校教育法第83条に定める大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3 選 抜 区 分

《一般選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当する者が出願できます。

《社会人特別選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者は、社会人特別選抜として出願できます。

- ① 社会人として実務経験を3年以上有する者
- ② ①のほか、企業、研究機関等に勤務し、当該勤務先の承認を得ている者
- ③ その他学長が特に認める者

※この募集要項における「社会人として実務経験」には、社会活動や家事労働経験等も含まれます。

《外国人特別選抜》

2の出願資格(1)～(10)のいずれかに該当し、かつ、日本国籍を有しない者で、教育を受ける目的をもって入国した者又は入国する者は、外国人特別選抜として出願できます。

《推薦特別選抜》

本学国際関係学部在籍し、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 本学国際関係学部4年生に在学し、3年次までの修得単位100単位以上(2020年3月まで)、かつ優以上の単位が2/3以上の者で、2021年3月に卒業見込みの者
- (2) 本学国際関係学部3年生に在学し、修得単位124単位以上(2021年3月までの見込みを含む)、かつ優以上の単位が2年生修了時および3年生修了時ともに3/4以上の者で、2021年3月までに卒業研究履修資格を取得する者
- (3) (1)、(2)に定める他に、本学国際関係学部3年以上在学し、本学学長が優秀な成績を修めたと認めた者

※推薦特別選抜として出願する者は、推薦特別選抜出願資格審査が必要です。審査を通過しないと、推薦特別選抜として出願できませんので、ご注意ください。

4 出願資格審査

2の出願資格(3)～(10)に該当する者、または推薦特別選抜での出願を希望する者は、出願資格の審査を行いますので、一次募集、二次募集それぞれの申請期間に、指定する提出書類を郵送または持参により学生部入試室まで提出してください。過去に出願資格審査により出願を認められた者も改めて出願資格審査を受ける必要があります。期日までに提出がない場合には、いかなる理由があっても出願できませんのでご注意ください。

審査結果については、後日、申請書の住所あてに郵送にて通知します。出願期間の1週間前になっても到着しない場合は入試室へ連絡してください。

(1) 申請受付期間

[一次募集] 2020年 7月10日(金)～7月16日(木)

[二次募集] 2020年12月 4日(金)～12月10日(木)

※窓口受付時間：平日9:00～12:00、13:00～16:00

※郵送・持参を問わず、最終日の16:00までに必着。

出願資格審査書類等がそろっていることを十分確認の上、角形2号の封筒(縦332mm×横240mm)に該当する書類を入れ、学生部入試室あて提出してください(封筒の表書きには「大学院国際関係学研究科 修士課程 出願資格審査書類在中」と朱書してください)。

郵送の場合は、簡易書留速達郵便により提出してください(期限厳守)。

(2) 提出書類

< 1. 一般選抜・社会人特別選抜・外国人特別選抜 >

提出書類	a	b	c	d	e	f	g	h	i
(3)	○	○	△	○	○				
(4), (5)	○	○	△			○			
(6)	○	○	△	○	○				
(7)	○	○	△	○	○				
(8)	○	○	△	○	○		○	○	○
(9), (10)	○	○	△	○	○		○	○	

※ ○は必ず提出してください。△は該当のある者は提出してください。

提出書類	説明(「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること)
a 出願資格審査申請書	「所定の様式」を使用すること ◎申請に先立って、第一志望教員に連絡をとること。
b 履歴書	「所定の様式」を使用すること 初等教育(小学校相当の学校入学時)からの学歴、職歴等を記入した志願者本人の履歴書を1部提出すること 履歴事項が多い場合は別紙を添付すること

c 住民票 ※外国人留学生のみ	日本に在住している外国人は、市区町村長が発行する住民票（ 在留資格、在留期間が明示されているもの ）を提出すること。ただし、日本に在住していない外国人は、旅券の写しまたは国籍を証明する書類を提出すること。
d 卒業(見込)証明書【原本】 *1 *2 *3	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること（大学中退の場合は、退学証明書）。 ※日本語以外で表記されている場合は日本語訳を添付のこと
e 成績証明書【原本】 *1 *2 *3	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること（大学に編入している者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。大学中退の場合は、その大学の成績証明書）。 ※日本語以外で表記されている場合は日本語訳を添付のこと
f 出願資格を証明する書類 *1	入試室の確認を受けること。
g 出願資格審査にあたり、「学士」相当の学力を有することを示せる書類 *1	著書、論文、調査報告書、その他「学士」相当の学力を有することを示せる書類。「論文」は「卒業論文」でも可。 英語以外の外国語によるものには、1,000字以上の日本語要約を付けること。なお、別途提出書類の「これまでの研究の経過・概要説明書」の内容と重複してもよい。（A4判縦、様式任意）
h これまでの学習をふまえた研究計画	日本語または英語で記入のこと。 日本語の場合は4,000字程度、英語の場合は1,200～1,500ワードの研究計画書。なお、別途提出書類の「出願理由・研究計画書」の内容と重複してもよい。（A4判縦、様式任意）
i 推薦状	所属する学科長以上の推薦状（必ず「公印」を押印すること）

*1 姓が変更となっている場合は住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。

*2 **外国人留学生**等、外国の大学卒業（見込）の者で、提出書類d, eのいずれかまたは両方が提出できない場合は、出願資格を証明する書類（授与された証書等）を提出してください。

*3 **外国人留学生**等、外国の大学卒業（見込）の者で、証明書が1部しか発行されない等の理由で**原本の返却を希望する場合は**、本学ホームページの募集要項ダウンロードページから「留学生の証明書【原本】返送方法について」を印刷し、手順に従って原本返送の申請をしてください。

< 2. 推薦特別選抜 >

区分	提出書類	説明 （「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること）
1) 推薦特別(1) a, bを提出すること。	a 出願資格審査申請書 (推薦用)	「所定の様式」を使用すること ◎申請に先立って、必ず志望講座主任教員に相談すること
2) 推薦特別(2) a～cの全てを提出すること。	b 成績証明書【原本】	本学発行のもの
3) 推薦特別(3) a～dの全てを提出すること。	c 推薦状	ゼミナール指導教員又は学部長のもの (A4判縦 様式任意)
	d 優秀な成績を修めたことを証明するもの	A4判縦 様式任意

5 出願受付期間

[一次募集] 2020年8月26日(水) から9月 1日(火) まで

[二次募集] 2021年1月19日(火) から1月25日(月) まで

※窓口受付時間：平日9:00～12:00、13:00～16:00（最終日は15:00まで）

※郵送・持参を問わず、最終日の15:00までに必着。早めの出願にご協力ください。

6 出願方法

出願書類等がそろっていることを十分確認の上、角形2号の封筒（縦332mm×横240mm）に該当する書類を入れ、**学生部入試室**あて提出してください（封筒の表書きには「**大学院国際関係学研究科 修士課程 出願書類在中**」と朱書してください）。

郵送の場合は、**簡易書留速達郵便**により提出してください（期限厳守）。

7 出願書類

出願書類		説明（「所定の様式」は本学ホームページからダウンロードすること）
a	入学願書	「所定の様式」を使用すること。 ※志望する研究分野を記入すること（綴じ込み参照）。 ◎出願に先立って、第一志望教員に連絡をとること。
b	写真票	「所定の様式」を使用すること。 写真（脱帽・上半身・正面・4.0cm×3.0cmのもの）で 出願前3か月以内 に撮影したものを貼付すること。
c	卒業（見込）証明書 【原本】 *4 *5	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※既に事前審査で提出済みの者は再提出不要。
d	成績証明書【原本】 *4 *5	出身大学において作成、 厳封したもの を提出すること。 ※大学等に編入した者は、編入前の学校の成績証明書も提出すること。 ※既に事前審査で提出済みの者は再提出不要。
e	出願理由・研究計画書 *6	「所定の様式」を使用すること。 日本語または英語で記入すること。
f	これまでの研究の経過・ 概要説明書 *6	「所定の様式」を使用すること。 日本語または英語で記入すること。
g	入学検定料	30,000円 郵便局の 普通為替証書 に限る。 <u>購入後、何も記入しないこと。</u>
h	返信用封筒 （受験票送付用） *7	市販の長形3号の封筒（横 235mm×縦 120mm）または指定封筒に、研究科名・住所・氏名・郵便番号を明記し、 534円分の切手を貼付 すること。 指定封筒の場合は、「様」を消さないこと。原則本人あてとする。 ※以下の日までに受験票が届かない場合には、入試室まで連絡すること。 ・一次募集 2020年9月18日（金）・二次募集 2021年2月3日（水）
i	住所票（合格通知受信用 あて名票）	「所定の様式」を使用すること。 研究科名・住所（合格通知、入学関係書類を確実に受け取れる場所）・氏名・郵便番号を明記すること。 「様」は消さないこと。原則本人あてとする。

- *4 姓が変更となっている場合は、住民票や戸籍抄本等、変更が確認できるものを添付してください。
*5 大学を複数卒業していて証明書が複数になる場合は、事前に入試室に相談し、指示を受けてください。
*6 原則として日本語で記載してください。ただし、日本語で十分に説明できない場合は、英語を併記しても構いません。
*7 海外への送付を希望する者は、EMSでの送付に必要な送料分の切手を同封してください。

◎2の出願資格(2)で出願する者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類		説明
a	学士の学位授与証明書	大学評価・学位授与機構が発行したもの
b	短期大学または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書及び学士の学位授与申請予定証明書	在籍する短期大学長または高等専門学校長の発行したもの（A4判縦 様式任意） ※学位規則第6条第1項の規定に基づき大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、出願資格(2)に該当する見込みの者

※ a または b を提出してください。

◎社会人特別選抜で出願する者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類		説明
職務経歴書	現在までに経験した職務について、できるだけ詳しく記述すること。 （A4判縦 様式任意 枚数は自由）	

※ 官公庁・会社等に在職のまま入学しようとする人は、あらかじめ勤務先とよく相談、調整しておいてください。

◎推薦特別選抜で出願する者は、次の書類を併せて提出してください。

出願書類		説明
推薦状	ゼミナール指導教員または学部長のもの（A4判縦 様式任意） ※既に事前審査で提出済みの者は再提出不要	

8 選抜方法

[一次募集] 一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜

出願書類、学力検査(外国語:200点)及び口頭試問(300点)の結果を総合的に審査し、決定します。

[一次募集] 推薦特別選抜

出願書類及び口頭試問(300点)の結果を総合的に審査し、決定します。学力検査(外国語)は免除します。

[二次募集] 一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜

出願書類、小論文(200点)及び口頭試問(300点)の結果を総合的に審査し、決定します。

※小論文は日本語および英語で出題され、日本語または英語で解答します。日本文化研究分野の志願者のみ日本語での解答が求められますが、それ以外の分野では日本語でも英語でも解答できます。

口頭試問では受験者の母語が日本語でない場合、必要に応じて英語で答えていただく場合もあります。

9 試験日程及び会場

(1) 試験日時

[一次募集]

一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜

月 日	時 間	科 目 等
2020年9月26日(土)	9:00~10:30(90分)	外 国 語
	12:00~	口 頭 試 問

外国語については、下記のとおりです。

分野	外国語科目 ※注1
国際政治・開発研究分野	「英語」 または「日本語 ※注2」
国際社会・文化研究分野	「英語」 または「日本語 ※注2」
日本文化研究分野	「英語」 ただし、外国人特別選抜出願者は「日本語」
アジア文化研究分野	「英語」 または「日本語 ※注2」
英米文化研究分野	「英語」
ヨーロッパ文化研究分野	「英語」「フランス語」「ドイツ語」「スペイン語」のうちいずれか1言語 または「日本語 ※注2」

※注1：どの言語を選択するか、あらかじめ願書に記載すること。辞書の持ち込みは不可。

※注2：外国人特別選抜出願者のみ選択可能。

推薦特別選抜

月 日	時 間	科 目 等
2020年9月26日(土)	12:00~	口 頭 試 問

[二次募集]

一般選抜、社会人特別選抜、外国人特別選抜

月 日	時 間	科 目 等
2021年2月 7日(日)	10:00~11:30(90分)	小 論 文
	13:00~	口 頭 試 問

※小論文は日本語および英語で出題され、日本語または英語で解答します。日本文化研究分野の志願者のみ日本語での解答が求められますが、それ以外の分野では日本語でも英語でも解答できます。

(2) 試験会場

静岡県立大学 草薙キャンパス (※本冊子の14ページ参照)

10 合格発表

発表日時 表紙に記載のとおり

- (1) 合格者には、本人あてに郵便で通知します（電話等による照会には一切応じません。）。
- (2) 合格者の受験番号は本学ホームページ（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>）にも掲載します。ただし、合格通知書の送付をもって正式通知とします。

11 出願上の留意事項

- (1) 4 出願資格審査の(2)提出書類、7 出願書類のうち「所定」のものは、本学ホームページ（入試情報）に掲載のPDFファイルを印刷したものが利用できます（<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/admissions/graduate/>を参照）。または学生部入試室あてに請求してください。

※ 郵便で出願書類付の募集要項を請求する場合は、次のようにしてください。

- ア 封筒の裏側に住所・氏名を明記するとともに、表側には必ず「**大学院国際関係学研究科 修士課程 募集要項請求**」と朱書きし、返信用封筒を同封して入試室あてに請求してください。
- イ 返信用封筒は角形2号（縦 332mm×横 240mm）を使用し、受取人の住所・氏名・郵便番号を明記して210円切手（速達の場合は500円切手）を貼付してください。

- (2) 出願書類に不備のある場合は、受理しないことがあります。
- (3) 出願書類受理後の書類の変更は認めません。
- (4) 一度受理した出願書類及び入学検定料は返却しません。
- (5) 出願書類等に虚偽の記載があった場合には、合格を取り消します。
- (6) 過去の入学試験問題については、学生部入試室窓口（平日9:00～12:00、13:00～17:00）または本学図書館で閲覧することができます。（一部の問題は、本学図書館でコピーすることができます。）
本学図書館の開館日時などの詳細は下記にて確認してください。
【図書館】 TEL：（054）264-5800（草薙キャンパス）
URL： <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>
- (7) 入学志願者で、身体に障害等（障害の程度は学校教育法施行令第22条の3の規定に該当するもの）があり、受験上特別な配慮を要する者は、以下の日までに入試室へ必ず事前照会してください。
・一次募集 2020年7月16日（木）16:00まで ・二次募集 2020年12月10日（木）16:00まで

12 その他

(1) 入学手続等について

合格者に対して、「入学手続要項」を送付します。概要は以下のとおりです。

ア 入学手続

(ア) 受付日【持参の場合】 ※郵送による受付日は入学手続要項送付時にお知らせします。

一次募集：2020年10月27日（火）

二次募集：2021年 3月14日（日）・15日（月）

(注) 一次募集の合格者のうち、希望者は二次募集の受付日に手続をすることができます。その場合は**必ず**入学手続要項送付時に指定する期日までに学生部入試室に申請をしてください。

(イ) 主な提出書類・納付金

a 宣誓書・保証書 b 住民票（静岡県内の者のみ） c 写真

d 入学料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2020年度入学者実績：静岡県内の者141,000円・静岡県外の者366,600円

※注1：「静岡県内の者」とは、入学手続を行う月の1日において、本人または本人の配偶者若しくは1親等の親族が引き続き1年以上静岡県に住所を有している者をいいます。住所を有していることの確認は住民票で行います。

※注2：2020年度中に入学料が改定された場合には、改定後の入学料が適用されることとなります。

e 保険料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2020年度入学者実績：2,430円

f その他諸経費 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2020年度入学者実績

本学出身者※注	他大学出身者
10,000円	20,000円

注：本学出身者であっても、卒業した学部や、志望する研究科によっては、他大学出身者と同じ金額になる場合があります。

イ 授業料 ※入学手続要項送付時にお知らせします。

(参考) 2020年度入学者実績

前期授業料（入学時に納付）	267,900 円
後期授業料（10月に納付）	267,900 円
合計（授業料年額）	535,800 円

注：年額一括納付はできません。また、2020年度中または入学時に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新たな授業料額が適用されます。

(2) その他参考事項

ア 日本学生支援機構（旧日本育英会）奨学金について

一次募集合格者は、合格通知書送付の際に貸与希望を確認します。二次募集合格者は、合格通知書に同封する「入学手続要項」にてご確認ください。

イ 授業料等の減免について

この制度の詳細については、「入学手続要項」にてご確認ください。

また、災害被災者の場合は、申請により授業料以外に入学料も免除されることがあります。

注：日本学生支援機構奨学金及び授業料等の減免の詳細については、学生部学生室に照会してください（TEL (054)264-5009）。

【国際関係学研究科の概要】

1 教育理念

国際関係学研究科は、グローバル化が進展する世界で必要とされる高度な専門知識を修得し、関連する諸課題を的確に把握、分析できる方法と実践力を備え、内外の社会で幅広く活躍し貢献できる人材を養成します。そのために俯瞰力と深い洞察力を兼備した能力を涵養することを基本的な教育理念としています。

2 教育目標

上記の理念に基づき、本研究科はグローバル化する世界を専門的に研究する上でも多角的、学際的なアプローチを推奨し、国境、文化、個別の学問領域等の壁を超えた研究課題に的確に取り組むことのできる人材育成を目指します。具体的には、俯瞰的な視座や比較の方法を駆使して専門の知識や経験を深化、発展させることのできる研究能力や高度な実践力を備えた人材の養成を目標としています。

3 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本研究科は、グローバル化の進展する内外の社会で必要とされる高度な専門知識と実践力を身につけた人材の養成を目指して教育課程（カリキュラム）を編成しています。修士学位（国際関係学専攻、比較文化専攻）授与に関する基本的な考え方は以下の通りです。

国際関係学専攻

国際関係学専攻では、国際政治・開発研究分野と国際社会・文化研究分野を設けており、分野ごとに専門の研究を深め、教育課程に基づき開設されている授業科目を履修し、修士論文の審査および試験に合格することが必須となっています。課程修了にあたっては、以下の能力を身につけていることが求められます。

1. 現代の国際関係を、政治学、法学、経済学、経営学、社会学、文化人類学、コミュニケーション論等の視点から分析し、複眼的な視点で多様な国際関係や社会を的確に把握して研究する能力。
2. 国際関係を国家間の関係として捉えるとともに、国家の壁を越えた民族、宗教、文化等の諸要因を踏まえて研究する能力。

比較文化専攻

比較文化専攻では、日本文化研究分野、アジア文化研究分野、英米文化研究分野、ヨーロッパ文化研究分野の四分野を設けており、分野ごとに専門の研究を深め、教育課程に基づき開設されている授業科目を履修し、修士論文の審査および試験に合格することが必須となっています。課程修了にあたっては、以下の能力を身につけていることが求められます。

1. 自己の文化と研究対象の文化に関する豊富な知識を持ち、多様な価値観の固有性と普遍性を理解する能力。
2. 世界の多様な文化を、言語、思想、宗教、文学あるいは歴史などの幅広い視点から把握し、比較の視座から研究する能力。

4 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示される能力を有する人材を育成するために、国際関係学研究科は、以下の観点から教育課程を編成しています。

1. 本研究科では、人文・社会科学の多彩な研究領域に関わる科目を体系的、順次的に学ぶカリキュラムを編成しています。
2. 本研究科では、各研究分野で個別に専門の研究を深めることに加えて、所属研究分野外の科目も履修することによって、学際的な知識を修得し、国境や文化の壁を越えて課題を発見して解決する能力を育成するための横断的カリキュラムを設けています。
3. 本研究科では、各研究分野での専門研究と連動した演習を履修し、各自の研究テーマの専門研究を深め、修士論文を作成する研究指導体制を備えています。
4. 本研究科では、留学生を対象にした日本語修士論文執筆指導の体制を備えています。
5. 本研究科では、教員専修免許状（国語、英語）等、各種の資格等に必要となる科目を設置しています。
6. 本研究科では、研究拠点として、三つのセンター（現代韓国朝鮮研究センター、広域ヨーロッパ研究センター、グローバル・スタディーズ研究センター）を付設し、学生が様々な研究テーマを深化させ、発展的に追究できる体制を整えています。

5 入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、高度な専門知識と方法を身につけ、グローバル化する内外の社会で活躍できる実践力を備えた人材の育成を目指しており、学部を卒業した意欲的な学生のみならず社会人や留学生も広く受け入れています。本研究科が求める学生像は以下の通りです。

1. 国際関係の理解に必要な知識、方法、技術を積極的に修得し、専門性を深めたい人。
2. 多角的な比較の観点に立って世界の多様な文化の固有性と普遍性を解明しようとする熱意のある人。
3. グローバル化する社会の様々な分野で活躍し、貢献する意欲を持つ人。

6 担当教員及び授業科目

以下のページの通り。

《参考》以下は2020年度の開講予定科目及び担当者です。
変更になる可能性がありますのでご了承ください。

【国際関係学研究科相談窓口】

本研究科について、わからないこと、知りたいことなどがありましたら、研究科の助教がご相談に応じます。下記のメールアドレスまで、お気軽にご相談ください。

メールアドレス：gsir-contact@u-shizuoka-ken.ac.jp

担当教員名簿

国際関係学専攻		氏名	職名	専門分野
国際政治・開発研究分野	現代中国, 日中関係	諏訪 一幸	教授	
	国際協力, アフリカ地域研究	古川 光明	教授	
	比較政治学, 日本政治史, 政治制度論	前山 亮吉	教授	
	日本近現代史(政治・外交史)	森山 優	教授	
	国際政治学, 安全保障論	山下 光	教授	
	国際法	坂巻 静佳	准教授	
	アメリカ政治外交, 国際関係論	佐藤真千子	准教授	
	国際政治学, ロシア地域研究	浜 由樹子	准教授	
	現代イストラム地域研究, イラン現代史・現代政治	宮田 律	准教授	
	開放マクロ経済学, 開発経済学, 国際経済関係論	飯野 光浩	講師	
	国際経済法	石川 義道	講師	
	国際政治学, 欧州の政治・安全保障, フランス現代政治	小窪 千早	講師	
	経営学, 国際経営論	宮崎 晋生	講師	
	国際組織法	北野 嘉章	助教	
	コミュニケーション論, 言語哲学, メディア論	飯野 勝己	教授	
国際社会・文化研究分野	国際社会学	石井 由香	教授	
	社会学, 支援工学, 障害学	石川 准	教授	
	家族社会学, ジェンダー社会学, 歴史社会学	犬塚 協太	教授	
	アフリカ地域研究, グローバリゼーション研究, 人類学	湖中 真哉	教授	
	都市社会学, 民族関係論, 在日外国人研究	高畑 幸	教授	
	犯罪学, 刑事政策, 評価研究, 青少年支援	津富 宏	教授	
	社会心理学, 社会学	渡邊 聡	教授	
	アフリカ地域研究, 生態人類学, 人文地理学	孫 晁剛	准教授	

比較文化専攻			
研究分野	職名	氏名	専門分野
日本文化研究分野	教授	澤崎 宏一	文処理論, 第二言語習得, 日本語教育等
	教授	細川 光洋	日本近代文学
	教授	水野かほる	日本語教育, 社会言語学
アジア文化研究分野	准教授	木澤 景	日本倫理思想
	准教授	竹部 歩美	国語学・国語史
	准教授	吉田 真樹	倫理学, 日本倫理思想史
	講師	鈴木さやか	日本古典文学
	教授	奥蘭 秀樹	現代韓国政治外交, 朝鮮半島をとりまく国際関係
	教授	小幡 壮	文化人類学, 東南アジア文化論
	教授	小針 進	現代韓国・朝鮮社会論, 北東アジア地域研究
	准教授	塩崎 悠輝	東南アジア地域研究, 地域協力論, 宗教学
	准教授	富澤 かな	宗教学
	准教授	奈倉 京子	文化人類学, 中国地域研究, 中国系移民研究
	准教授	堀内 賢志	現代ロシア政治・外交
	助教	下條 尚志	東南アジア地域研究, 社会学, 歴史人類学
英米文化研究分野	教授	栗田 和典	近代イギリス史
	教授	澤田 敬人	比較国際教育学, 教育社会学, オーストラリア研究
	教授	寺尾 康	心理言語学, 音韻論, 認知科学
	教授	長野 明子	対照言語学, 形態論, 語形成
	准教授	須田 孝司	第二言語習得理論, 応用言語学
	准教授	ジョナサン・ディハーン	教育言語工学
	准教授	米山 優子	イギリス文化・文学, 社会言語学
	准教授	ポール・リダン	応用言語学
	教授	剣持 久木	フランス現代史
	教授	園田 明人	心理学
ヨーロッパ文化研究分野	教授	橋本 勝	教育社会学
	准教授	小谷 民栄	ドイツ文学
	准教授	橋川 裕之	西洋史学
	准教授	マティアス・ファイファー	文芸社会学, 文化社会学
	准教授	松森奈津子	政治思想史, 地域研究(スペイン), 国際関係論
	准教授	森 直香	スペイン文学, 比較文学
	講師	浅間 哲平	フランス文学

【国際関係学専攻】

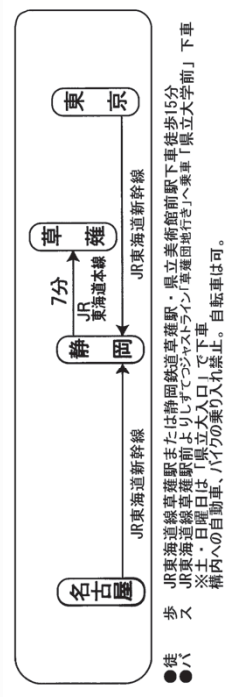
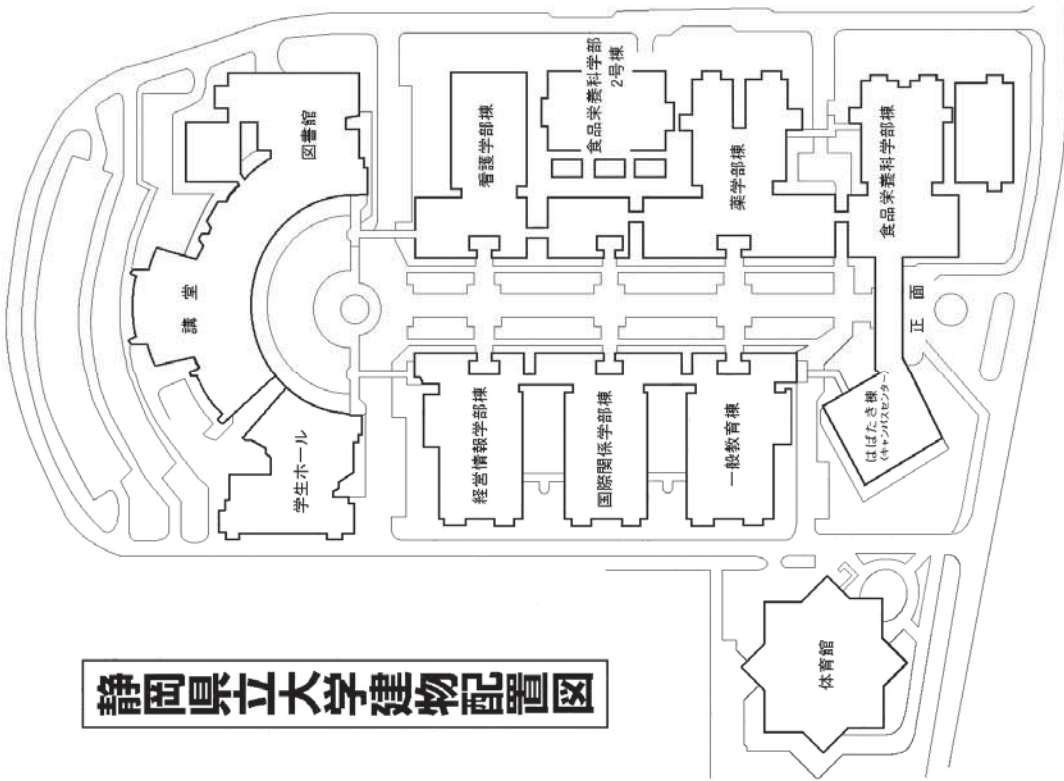
研究分野	授 業 科 目	担当教員	備 考
国 際 政 治 ・ 開 発 研 究 分 野	国際政治学研究ⅠA・B	佐藤真千子	<p>[履修方法]</p> <p>次に掲げる科目のうちから合計30単位以上を選択履修すること。</p> <p>(1) 自分が所属する研究分野の専門科目20単位以上(ただし、それぞれの研究分野で指定された演習ⅠA・B、演習ⅡA・Bを必ず履修しなければならない。)</p> <p>(2) 国際関係学科専攻の研究分野のうち(1)以外の専門科目</p> <p>(3) 指導教員及び担当教員が必要と認めた場合には、他の専攻の専門科目</p> <p>(4) 指導教員が必要と認めた場合には、他の研究科及び他の大学院の授業科目(当該研究科及び当該大学院との協議の上で、合わせて10単位を上限とする。)</p> <p>[修了要件]</p> <p>在学期間中に、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することとする。</p>
	国際政治学研究ⅡA・B	山下 光	
	国際政治学研究ⅢA・B	小窪 千早 浜 由樹子	
	中国政治外交研究A・B	諏訪 一幸	
	朝鮮半島政治外交研究A・B	奥菌 秀樹	
	地域研究A・B	宮田 律	
	EU政治研究A・B	小窪 千早	
	広域ヨーロッパ研究A・B	浜 由樹子	
	日本政治外交研究ⅠA・B	前山 亮吉	
	日本政治外交研究ⅡA・B	森山 優	
	国際法研究ⅠA・B	坂巻 静佳	
	国際法研究ⅡA・B	石川 義道	
	国際経済学研究ⅠA・B	古川 光明	
	国際経済学研究ⅡA・B	古川 光明	
	国際開発研究ⅠA・B	飯野 光浩	
	国際開発研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	国際金融研究ⅠA・B	今年度開講せず	
	国際金融研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	国際経営研究ⅠA・B	宮崎 晋生	
	国際経営研究ⅡA・B	今年度開講せず	
国際関係学演習ⅠA・B	指導教員		
国際関係学演習ⅡA・B	指導教員		
フィールドワーク	指導教員		
国 際 社 会 ・ 文 化 研 究 分 野	国際行動研究A・B	高畑 幸	
	国際社会研究ⅠA・B	今年度開講せず	
	国際社会研究ⅡA・B	石井 由香	
	国際社会研究ⅢA・B	今年度開講せず	
	国際社会研究ⅣA・B	湖中 真哉	
	コミュニケーション研究ⅠA・B ☆	今年度開講せず	
	コミュニケーション研究ⅡA・B ☆	飯野 勝己	
	現代社会研究ⅠA・B	犬塚 協太	
	現代社会研究ⅡA・B	渡邊 聡	
	現代社会研究ⅢA・B	津富 宏	
	文化人類学研究ⅠA・B	富沢 寿勇	
	文化人類学研究ⅡA・B	孫 暁剛	
	行動計量学研究A・B	津富 宏	
	国際関係学演習ⅠA・B	指導教員	
	国際関係学演習ⅡA・B	指導教員	
フィールドワーク	指導教員		

【比較文化専攻】 No. 1

研究分野	授 業 科 目		担当教員	備 考
共通科目	比較文化研究A・B		富澤 かな	<p>[履修方法]</p> <p>次に掲げる科目のうちから合計30単位以上を選択履修すること。</p> <p>(1) 共通科目 4単位以上</p> <p>(2) 自分が所属する研究分野の専門科目16単位以上(ただし、それぞれの研究分野で指定された演習ⅠA・B、演習ⅡA・Bを必ず履修しなければならない。)</p> <p>(3) 比較文化専攻の研究分野のうちから(2)以外の専門科目</p> <p>(4) 指導教員及び担当教員が必要と認めた場合には、他の専攻の専門科目</p> <p>(5) 指導教員が必要と認めた場合には、他の研究科及び他の大学院の授業科目(当該研究科及び当該大学院との協議の上で、合わせて10単位を上限とする。)</p> <p>[修了要件]</p> <p>在学期間中に、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び試験に合格することとする。</p> <p>(国語・英語教員専修プログラム)</p> <p>専修免許状の取得要件は、一種免許状取得に必要な単位を修得しているほか、国語については日本文化研究分野、英語については英米文化研究分野のそれぞれ*印の科目から選択して合計で24単位以上を修得しなければならない。科目はA・Bの順で履修すること。</p>
	比較言語研究A・B		長野 明子	
	比較思想研究A・B		木澤 景	
日本文化研究分野	日本文化研究A・B ☆		木澤 景	
	比較宗教研究A・B		吉田 真樹	
	日本文化史研究A・B ☆		今年度開講せず	
	日本思想史研究A・B ☆		今年度開講せず	
	日本文学研究ⅠA・B ※		鈴木 さやか	
	日本文学研究ⅡA・B ※☆		細川 光洋	
	日本文学史研究A・B *		今年度開講せず	
	日本文学特殊研究A・B *		今年度開講せず	
	日本語表現研究A・B ※☆		今年度開講せず	
	日本語表現特殊研究A・B *☆		澤崎 宏一	
	日本語学研究ⅠA・B *☆		竹部 歩美	
	日本語学研究ⅡA・B ※		竹部 歩美	
	日中関係史研究A・B		今年度開講せず	
	日本語教育学研究ⅠA・B ★		水野かほる	
	日本語教育学研究ⅡA・B ★		水野かほる	
	日本語教育演習 ☆		—	
日本文化演習ⅠA・B		指導教員		
日本文化演習ⅡA・B		指導教員		
フィールドワーク		指導教員		
アジア文化研究分野	アジア地域研究A・B		塩崎 悠輝	
	東洋思想史研究A・B		今年度開講せず	
	中国文学研究A・B		今年度開講せず	
	現代中国研究A・B		今年度開講せず	
	韓国朝鮮社会文化研究A・B		小針 進	
	韓国朝鮮史研究A・B		小針 進	
	朝鮮半島政治外交研究A・B		奥菌 秀樹	
	東南アジア文化研究A・B		小幡 壮	
	現代東南アジア研究A・B		塩崎 悠輝	
	ロシア文化研究A・B		今年度開講せず	
	ロシア社会研究A・B		堀内 賢志	
	ロシア文学研究A・B		今年度開講せず	
	東西文化交流史研究A・B		今年度開講せず	
	華僑・華人文化研究A・B		奈倉 京子	
	東南アジア民族学研究A・B		小幡 壮	
	アジア文化演習ⅠA・B		指導教員	
アジア文化演習ⅡA・B		指導教員		
フィールドワーク		指導教員		

【比較文化専攻】 No. 2

研究分野	授 業 科 目	担当教員	備 考
英 米 文 化 研 究 分 野	英米文化研究方法論A・B ※	栗田 和典 澤田 敬人	<p>(日本語教師養成プログラム)</p> <p>日本語教師養成プログラム修了証の発行に必要な単位は、★印の科目を必修とし、ほかに「日本文化」・「英米文化」の両分野から☆印の科目を選択して(「国際社会・文化分野」の「コミュニケーション研究ⅠA・B」「コミュニケーション研究ⅡA・B」を含む)合計で24単位以上を修得しなければならない。科目はA・Bの順で履修すること。</p> <p>なお、「国語・英語教員専修プログラム」を選択している者が、「日本語教師養成プログラム」の修了証を得ようとする場合、「日本語教育学研究ⅠA・B」、「日本語教育学研究ⅡA・B」の単位を修得するとともに、国語においては「英米文化分野」の☆印から4科目の単位を修得しなければならない。</p>
	英米文学研究A・B *	米山 優子	
	イギリス文化研究A・B *	非常勤	
	アメリカ文化研究A・B *	非常勤	
	イギリス社会史研究A・B	栗田 和典	
	アメリカ社会史研究A・B	今年度開講せず	
	英米社会文化研究A・B	澤田 敬人	
	英語学研究A・B ※☆	武田 修一	
	英語意味論研究A・B *	今年度開講せず	
	英語統語論研究A・B *	須田 孝司	
	言語機能論研究A・B *☆	長野 明子	
	第二言語習得研究A・B *☆	寺尾 康	
	外国語教育研究A・B ※☆	須田 孝司	
	アカデミック・イングリッシュⅠA・B ※	ジョナサン・ディハーン	
	アカデミック・イングリッシュⅡA・B ※	ポール・リダン	
	英語教育演習	—	
	英米文化演習ⅠA・B	指導教員	
	英米文化演習ⅡA・B	指導教員	
	フィールドワーク	指導教員	
ヨ ー ロ ッ パ 文 化 研 究 分 野	ヨーロッパ文化研究ⅠA・B	剣持 久木	
	ヨーロッパ文化研究ⅡA・B	橋川 裕之	
	ヨーロッパ思想研究ⅠA・B	松森奈津子	
	ヨーロッパ思想研究ⅡA・B	橋川 裕之	
	ヨーロッパ思想研究ⅢA・B	マティアス・ファイファー	
	フランス文学研究A・B	浅間 哲平	
	フランス文化研究ⅠA・B	剣持 久木	
	フランス文化研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	ドイツ文学研究A・B	小谷 民菜	
	ドイツ文化研究ⅠA・B	マティアス・ファイファー	
	ドイツ文化研究ⅡA・B	今年度開講せず	
	人間科学研究A・B	園田 明人	
	スペイン文学研究A・B	森 直香	
	スペイン文化研究ⅠA・B	今年度開講せず	
	スペイン文化研究ⅡA・B	松森奈津子	
	ヨーロッパ文化演習ⅠA・B	指導教員	
	ヨーロッパ文化演習ⅡA・B	指導教員	
	フィールドワーク	指導教員	



●徒歩
●バス

JR東海道線草薙駅または静岡駅通草薙駅・県立美術館前駅下車徒歩15分
 JR東海道線草薙駅前よりしずてつシャトルライン「草薙回地行き」へ乗車「県立大学前」下車
 ※土・日曜日は「県立大学前」で下車
 構内への自動車、バイクの乗り入れ禁止。自転車は可。

静岡県立大学
 静岡市駿河区谷田52-1
 ☎ (054) 264-5007

《入学者選抜試験に関する問い合わせ》

静岡県立大学学生部入試室（平日9:00～12:00、13:00～17:00）

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

TEL : (054) 264-5007 FAX : (054) 264-5199

E-MAIL : nyus@u-shizuoka-ken.ac.jp

大学ホームページ : <https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

国際関係学研究科相談窓口

メールアドレス : gsir-contact@u-shizuoka-ken.ac.jp